

総評

標準的な難易度の出題でした。どの教科も特殊な難問はなく、比較的取り組み易い出題だったと思います。

今回の試験範囲である、中1の冬期までの内容は、入試に向けてのいわゆる「基礎」の部分ですから、どの教科も確実に身につけておきたい内容ばかりです。間違えた問題は徹底的に復習し、基礎を完璧にしましょう。

1月からの学習はまた一段難しくなります。結果が良くても油断せず、より実践的な問題に取り組みましょう。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけでは半分の価値しかありません。自分の弱点を把握し、苦手な問題を克服してこそ、受験した価値があるのです。せっかくの受験を無駄にしないためにも、間違えた問題の解き直しを必ず行って、実力アップに役立ててください。

国語

やや易しめの出題でした。

㊦では、問三の誤字訂正の得点率が最も低くなりました。このような形式の問題は、ここ数年の公立高入試でも毎年出題されているものです。

㊦の問一は主語にあたる文節を問われているので、「は」まで書き抜くことに注意しましょう。㊦、㊦の記述の問いは、空欄の前や後とのつながりがおかしいものや指定形式、指定語句を見落としているものが散見されました。

㊦は全体によくできています。問一のかなづかいを間違えた人は、歴史的かなづかいの読み方のきまりを復習しておきましょう。古文は主語や助詞が省略されることが多いです。口語訳と対比させながら、もう一度読んでみましょう。

数学

特別な難問はありませんでしたが、全体に中難度以上の問いが多かったため、上位の人は得点が伸びた一方で、中位の人は得点を落とした人が多かったようです。

①問1の文字式の計算は、後半に複雑な計算が多く、難しい出題でした。計算の意味をよく考えてもう一度解いてみましょう。①の問3、問4、「式の値」「方程式の解」の用語の意味をしっかりと確認しましょう。

④の方程式の利用は、苦手な人が多く、得点率が低くなりました。問2は、「道のり」「時間」「速さ」のどれについて方程式を作ったらいいのか、図などを使って考えてみましょう。

数学は、1年生の学習が理解できていなければ2年生の学習が困難になります。間違えた問題は、解説を読むだけでなくしっかり解き直して自分のものにしましょう。

社会

標準的な難易度の出題でした。

地理分野では、①問7(2)のアフリカ州に属する国の人口について答える問題が特に難しかったようです。資料を活用する問題の考え方を整理しておきましょう。また、④問3は得点率が低くなりました。アメリカの農業地帯の特徴を教科書や資料集などで確認しておきましょう。

歴史分野では、⑧問3(1)が難しかったようです。青銅器と鉄器を同時に答えることで難易度が上がったようです。文化に関する問題は、多くの受験者の方が苦手としています。もう一度よく整理するようにしましょう。また、⑩問6の問題は、得点率が低くなりました。時代のできごとを覚えるだけではなく、時代の流れなども関連づけて覚えるようにしましょう。

理科

標準的な難易度の出題でした。

①と②の「植物」、④の「気体」は基本的な出題であったこともあり、全体によくできていたようです。一部、得点率が低い問題がありましたので、間違えた問題はしっかりと復習しておきましょう。

③は、実験結果が正確に読み取る必要があり、難しかったようです。また、問2(2)では、単位が書かれていないものや、書き間違いが非常に多く目立ちました。問題文をしっかりと読み問われていることに正しく答えるよう意識するとともに、自分が書いた答案を見直して間違っていないかを確認するようにしましょう。

これまでの学習内容を復習する機会はあまりありません。このような模試を利用して、2年生になる前にしっかりと身に着けておきましょう。

英語

全体としては易しめの出題でした。特にリスニング問題は比較的よく得点できていたようです。間違えた箇所は学年があがる前にしっかりと復習しておきましょう。

②問2は代名詞themの内容を答える問題でしたが、動詞部分まで訳出してしまっている解答が多く見られました。指し示す部分を正確に答えるようにしましょう。

②問5はHow many ~?に対する答えの文でしたが、得点率が非常に低くなりました。問われている内容は把握できていても、空欄をうまく埋められなかったという人もいたかもしれません。数のあとの名詞を省略した答え方をよく練習しておきましょう。

④の問4は基礎的な出題でしたが、あまり得点が伸びなかったようです。疑問詞whoseを用いた疑問文の語順が身につけていたか確認してみてください。